

## フィールド5 教育文化

### ～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

#### ◎学習活動の充実

(公) **夜間照明施設整備事業 (教育委員会事務局 社会教育課)**

**105,140千円** (119,609千円)

**1 事業目的**

老朽化が進む学校開放照明設備の計画的な更新（建替え）を行うことにより、利用環境の向上と市民のスポーツやコミュニティ活動の促進を図る。

**2 27年度の事業内容**

- (1) 夜間照明設備工事 新居浜小学校、浮島小学校、泉川小学校、金栄小学校
- (2) 防球ネット更新工事 金栄小学校

**3 財源内訳**

- (1) 国 1/3 20,168千円 (学校施設環境改善交付金)
- (2) 市債 75% 30,200千円 (学校教育施設等整備事業債)
- (3) 一財 54,772千円

#### ◎地域づくりの推進

(施) **あいさつ運動推進事業費 (教育委員会事務局 学校教育課) (新規)**

**1,000千円**

**1 事業目的**

地域や学校で「ふるさとを愛し、未来を拓く」子どもたちを育てるために、重要な基盤となるものが「あいさつ」である。学校、PTA、地域社会が協力して子どもたちに関わり、あいさつ運動を推進することによって、子どもたちのコミュニケーション能力を育成し、また、相手に対する敬意や親愛の心を持ち、互いに信頼できる関係を構築することで、地域の中で安心して生きていけるまちづくりを推進する。

**2 27年度の事業内容**

・あいさつ運動推進事業委託料

- (1) あいさつ日本一のまちづくり推進事業委託料 500千円

制作した啓発用のぼり旗、啓発物品をあいさつ運動で活用する。各小中学校での「あいさつ標語」、「あいさつイメージキャラクター」等の募集。

市民文化センターで「あいさつ大会」を開催し、小中学校の活動発表コンテスト、過去の笑顔甲子園出場者を招聘してのお笑いライブを実施する。

- (2) あいさつ標語看板作製委託料 500千円

あいさつ標語看板を制作し、市内10中学校区概ね各10か所の小中学校、公民館等のフェンスや外壁等に設置する。

◎学校教育の充実

(施) **小・中学校教育充実費（教育委員会事務局 学校教育課）（拡充）** **52,407千円** (49,262千円)

1 事業目的

小・中学校における教育活動に必要な教材や環境の整備に要する経費を公費で負担することにより、教育内容の充実と保護者負担の軽減を図る。

平成27年度は、バス料金の制度変更に伴う修学旅行にかかる費用の増額分の一部を緊急避難策として補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図る。

2 27年度の事業内容

|                              |              |
|------------------------------|--------------|
| ・備品購入費（学校図書館用図書購入費）          | 14,426千円     |
| ・消耗品費（教材用紙、準教科書等、理科実験材料等）    | 26,456千円     |
| ・使用料及び賃借料（ふるさと学習、社会見学等バス借上料） | 8,304千円      |
| ・補助金（全国合唱音楽コンクール派遣補助）        | 1,137千円      |
| ・講師謝礼、保険料等                   | 486千円        |
| ・補助金（修学旅行バス料金補助金）            | 1,598千円<※拡充> |

3 財源内訳

|           |                    |
|-----------|--------------------|
| (1) 県 1/2 | 799千円（修学旅行バス料金補助金） |
| (2) 一財    | 51,608千円           |

(施) **持続可能な開発のための教育推進費（教育委員会事務局 学校教育課）（新規・政策懇談会）** **509千円**

1 事業目的

子ども達が、変化の激しい不安定な時代を生き抜くために、「問題解決能力」「豊かな心と創造的なコミュニケーション能力」「健康・体力」を身につけ、「多様化、複雑化する問題を解決する力」を育成する必要がある。現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取組み、解決し、実践化していこうとする力を育てることを目的に、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手をはぐくむ教育（ESD）を行う。

2 27年度の事業内容

|   |       |
|---|-------|
| (1) 小中学校教諭先進地研修旅費   | 262千円 |
| 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進拠点であるユネスコスクール先進地「ユネスコスクールのまち大牟田」を訪問し、教育委員会、各小中学校ほか関係機関でのESD推進の取組について研修する。          |       |
| (2) ESD啓発パンフレット作製費  | 247千円 |
| 主に小中学校で取り組んでいるESD活動（環境学習・ふるさと学習・防災教育・人権教育・福祉教育）を紹介したパンフレットを作成し、各家庭、公民館等の関係機関に配布し、ESD活動の重要性について広く普及啓発する。 |       |

## フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

### (公・単) 小・中学校施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課)

145,105千円 (101,243千円)

#### 1 事業目的

小・中学校の施設については老朽化が進み、修繕・改修の必要な箇所が多くある。安全で快適な教育環境の確保・維持管理を図るため、各種施設の修繕及び改修工事を施工するとともに、高木剪定・樹木消毒委託、運動場への土入れ等を行う。

また、運動場の排水状況が悪い学校については、雨天後も短時間で使用可能となるよう、運動場下に排水管を埋設し、表層を浸透性のある土に入れ替える工事を行う。

#### 2 27年度の事業内容

##### (1) 小学校施設環境整備事業

- ・工事費 32,430千円  
若宮小学校バスケットボード改修工事、金子小学校受水槽設備改修工事、  
角野小学校体育館屋根塗装改修工事、泉川小学校体育館床改修工事
- ・委託料 (小学校施設管理委託料) 3,163千円
- ・施設修繕料 (老朽、危険個所の補修・修繕) 17,324千円
- ・その他 (消耗品、原材料費、備品購入費等) 8,838千円

##### (2) 小学校運動場排水整備事業

- ・工事費 (金栄小学校運動場排水整備工事) 56,430千円

##### (3) 中学校施設環境整備事業

- ・工事費 15,023千円  
角野中学校クラブハウス雨漏り修繕工事、大生院中学校体育館防水工事  
西中学校エレベーター既存不適格解消工事
- ・委託料 (中学校施設管理委託料) 2,263千円
- ・施設修繕料 (老朽、危険個所の補修・修繕) 7,498千円
- ・その他 (消耗品、原材料費、備品購入費等) 2,136千円

#### 3 財源内訳

- (1) 国 1/3 18,810千円 (学校施設環境改善交付金)
- (2) 市債 75% 28,200千円 (学校教育施設等整備事業債)
- (3) 一財 98,095千円

### (公) 小学校大規模改造事業 (教育委員会事務局 学校教育課)

875,463千円 (32,972千円)

#### 1 事業目的

学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの中心であり、非常時には防災拠点の役割を果たす施設であるため、安全かつ安心な施設環境を確保することが必要である。また、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、時代に即した機能的な施設環境を確保するためにも、学校施設の大規模改修を実施する。

#### 2 27年度の事業内容

- ・神郷小学校プール新築工事設計業務委託 12,666千円
- ・大生院小学校プール新築工事 245,634千円
- ・泉川小学校南棟大規模改造工事 617,163千円

#### 3 財源内訳

- (1) 国 1/3 287,004千円 (学校施設環境改善交付金)
- (2) 市債 90% 516,400千円 (学校教育施設等整備事業債)
- (3) 一財 72,059千円

## フィールド5 教育文化

### ～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **学力向上学習支援事業費 (教育委員会 学校教育課)** (拡充・政策懇談会)

**30,176千円** (1,356千円)

#### 1 事業目的

児童生徒に基礎的な知識や技能を身に付けさせるとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成し、学習習慣の定着化と思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を育む事業を推進し、確かな学力の習得を図る。

放課後に、学校の余裕教室等において学習支援の場を提供し、就学児童の放課後支援及び学力向上対策を進める。

#### 2 27年度の事業内容

(1) あかがね算数・数学コンテスト 198千円

数学的な考え方を駆使して難問に挑戦することを通し、優れた数学的資質能力を備えた児童生徒を育成する。

(2) 新聞制作体験学習支援事業 868千円

地元新聞社と協力し、中学生が取材や記事を各体験を通じて、言語やコミュニケーション能力を高める。

(3) 英語キャンプ開催費 1,368千円<新規>

大学生やALT等との3日間の合宿生活を通じて、英語で聞き、話し、仲間とともに考える楽しさと生きた英語を学び、英語力とコミュニケーション力を深める。

(4) 放課後まなび塾運営費 27,652千円<※拡充>

小学4年生～6年生を対象に、小学校の余裕教室等を活用して、放課後に教員OBなどの学習支援員による宿題の指導などの学習支援を行う「放課後まなび塾」を運営する。

(5) 学校再編検討委員会運営費 90千円<新規>

#### 3 財源内訳

(1) その他 100千円 (参加負担金)

(2) 一財 30,076千円

(施) **小学校保健充実費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (新規)

**1,017千円**

#### 1 事業目的

児童のむし歯罹患率が県内他市に比べて高いことから、フッ化物洗口を県の指定校(4校)以外の小学校(13校)についても、新居浜市歯科医師会の協力のもと同様に実施し、市内全小学校でのむし歯予防に取り組む。

集団での定期的な実施によって、広範囲で習慣的なむし歯予防を推進するとともに、児童のむし歯予防に対する意識啓発を図る。

#### 2 27年度の事業内容

愛媛県のモデル事業指定校以外の小学校について、フッ化物洗口実施に必要な器材・試薬等を購入する。

・消耗品費(溶液貯蔵用ポリタンク、洗口液分注用ボトル等) 341千円

・医薬材料費(フッ化ナトリウム試薬ほか) 676千円

## フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **小学校教育用コンピューター整備費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (拡充・政策懇談会)

**39,559千円** (13,206千円)

### 1 事業目的

情報教育の必要性が増していく中、平成22年度は旧機器も利用しパソコン教室用の台数を増やし、普通教室へのLAN整備を行った。今回5年が経過し再構築時期となったため、買い取りからリースに切り替えて支出の平準化を行い、利用できる台数を維持しつつ、効率的かつ効果的な学校ICT環境を構築していく。

また、新居浜市政策懇談会で提言のあった教育環境の向上(電子黒板の全教室への導入)を目指し、電子黒板機能付プロジェクターを順次整備していく。

### 2 27年度の事業内容

平成24年度から順次整備している垣生小学校、泉川小学校、高津小学校に続き、平成27年度は高津小学校の一部と新居浜小学校に整備予定

|                          |          |
|--------------------------|----------|
| ・使用料(教育用コンピューターリース料)     | 29,832千円 |
| ・委託料(小学校ICT保守委託料)        | 5,148千円  |
| ・器具購入費(電子黒板機能付プロジェクターほか) | 3,519千円  |
| ・備品購入費(デジタル教科書ライセンス料)    | 908千円    |
| ・その他(器具修繕料、手数料)          | 152千円    |

(施) **誕生学プログラム実施事業費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (新規)

**50千円**

### 1 事業目的

現代社会において、子どもたちを取り巻く環境は、いじめや不登校、性行動開始年齢の低年齢化など様々な問題を抱えている。そのような中で、子どもたちの自己肯定力、自尊感情を高め、いじめや自殺防止に寄与し、友達同士のお互いを尊重する気持ちなどを育むために、小学校3、4年生を対象に、生命の神秘や命の大切さを学ぶ授業(誕生学)を実施する。(協働事業)

### 2 27年度事業内容

・誕生学講師料 50千円(講師料10,000円×小学校5校)

誕生学協会の専門的な知識を得た講師による生命の誕生の神秘や命の大切さ、命をつなげる貴さなどを教える授業を実施する。(毎年5校ずつ実施)

## フィールド5 教育文化

### ～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

#### (施) 小・中学校非構造部材耐震対策事業 (教育委員会事務局 学校教育課)

122,124千円 (177,772千円)

##### 1 事業目的

東日本大震災において、体育館等のつり天井や照明が落下し、大きな被害を被ったことを受けて、体育館等の非構造部材の耐震対策が急務となった。文部科学省の通知により、高さが6m以上または面積が200㎡以上のいずれかを満たす屋内運動場等の天井については、平成27年度までに速やかに落下防止対策工事を講じることとなっていることから、小学校非構造部材耐震対策工事を実施する。

##### 2 27年度事業内容

###### (1) 小学校非構造部材耐震対策事業

- ・新居浜小学校多目的スペース天井落下防止対策工事 (18,360千円)
  - ・金栄小学校体育館天井落下防止対策工事 (28,296千円)
  - ・新居浜小学校他12校非構造部材耐震工事 (17,622千円)
- ※吊り天井を有しない体育館の照明器具等非構造部材の耐震対策工事

###### (2) 中学校非構造部材耐震対策事業

- ・西中学校多目的スペース天井落下防止対策工事 (17,712千円)
  - ・泉川中学校体育館天井落下防止対策工事 (32,832千円)
  - ・東中学校他4校体育館非構造部材耐震工事 (7,302千円)
- ※吊り天井を有しない体育館の照明器具等非構造部材の耐震対策工事

##### 3 財源内訳

- (1) 国 1/3 32,400千円 (学校施設環境改善交付金)
- (2) 市債 100% 89,600千円 (緊急防災・減災事業債(100%)ほか)
- (3) 一財 124千円

#### (施) 二次検診公費負担実施事業費 (教育委員会事務局 学校教育課) (新規)

1,298千円

##### 1 事業目的

新居浜市学校検尿判定委員会、愛媛県医師会学校医会心臓病対策委員会から、それぞれ現状の学校検尿及び学校心臓検診の精度向上やシステム改善について提言を受けたことなどから、尿検査及び心臓検診の二次検診費用の公費負担により、保護者の経済的な負担軽減を図り、児童生徒の各疾患の早期発見に寄与する。

##### 2 27年度事業内容

- ・役務費 (二次検尿手数料) 153千円  
@500円× (小学校120人+中学校180人+幼稚園5人)
- ・委託料 (心臓二次検診委託料) 1,145千円  
@7,643円× (小学1年60人+中学1年90人)

## フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **学校図書館支援センター充実費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (拡充・政策懇談会)

**19,328千円** (12,376千円)

### 1 事業目的

学校図書館法の改正により、学校に学校司書を置くよう努めなければならないとされたことから、学校司書(学校図書館支援員)を各学校に派遣して、学校図書館の整備運営、図書資料を活用した授業支援を行い、学校図書館の読書センター機能と学習情報センター機能の強化を図る。

### 2 27年度事業内容

学校図書館の様々な取組を支援する(仮称)学校図書館支援センターを学校教育課内に設置し、学校司書8名を各学校に派遣し、教職員と連携して学校図書館の整備、調べ学習や図書資料を活用した授業支援を行い、児童生徒の主体的な学習活動や豊かな感性などが育まれるよう学校図書館の機能強化を進める。

- ・学校司書人件費(26年度6名から2名増員して8名体制) 17,267千円
- ・学校図書館支援センター運営費(学校図書館PCリース料金など) 2,061千円

※(経常) **就園奨励補助費 (教育委員会事務局 学校教育課)** (拡充)

**103,697千円** (48,756千円)

### 1 事業目的

私立幼稚園に子ども(満3歳以上)を通園させている家庭に対し、世帯の所得の状況に応じて保育料等を軽減し、保護者の経済的負担の軽減と幼稚園教育の一層の普及充実を図る。

### 2 27年度事業内容

- ・就園奨励補助金(98,617千円)

世帯の所得状況(市民税額)、扶養人数等に応じて幼稚園就園奨励補助金を支出する。

**(低所得世帯、多子世帯の保護者負担の軽減) <※拡充>**

平成27年度から、多子世帯の保護者負担の軽減を拡充するため、小学校3年生までの兄弟がいる世帯まで補助対象を拡大(これまでは同時在園のみ)し、第2子の補助金額は年額保育料の概ね半額、第3子の補助金額は概ね無料の水準まで補助単価を引き上げる。(保育園と同様)

また、市民税非課税世帯の保育料を月額3,000円に引き下げる国の方針を受け、市民税非課税世帯の補助単価を自己負担が3,000円となる水準まで引き上げる。

- ・基幹システム改修委託料(4,600千円)
- ・基幹システム使用料(480千円)

### 3 財源内訳

- |        |     |                       |
|--------|-----|-----------------------|
| (1) 国  | 1/3 | 24,654千円(幼稚園就園奨励費補助金) |
| (2) 一財 |     | 79,043千円              |

## ◎特別支援教育の充実

(施) 幼稚園・小・中学校特別支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課)

130,453千円 (122,945千円)

### 1 事業目的

障がいや発達課題のある幼児・児童・生徒が在籍する幼稚園、小・中学校において、生活や学習上の困難を有する子どもに対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、特別な教育的支援を必要としている児童・生徒の学習効果を高めるとともに、園児の生活支援と幼稚園・学校生活へのよりよい適応を図る。

通学区域外の自閉症・情緒障がい特別支援学級に通学する児童・生徒に、その通学費の一部を補助する。また、心身に障がいを有する幼児が在園する私立幼稚園が実施する特別支援教育に要する経費の一部に対して特別支援教育事業費補助金を交付し、市内の私立幼稚園における特別支援教育の振興と就園機会の促進を図る。

### 2 27年度事業内容

#### (1) 幼稚園特別支援教育充実費

- 学校特別支援教育支援員報酬等 (5,343千円)
  - ・生活介助員 7人 (神郷幼稚園2人 王子幼稚園5人配置予定)
- 私立幼稚園特別支援教育事業補助金 (4,680千円)
  - ・補助対象者 私立幼稚園の設置者
  - ・補助対象園児 (ア) 身体障害者手帳の所持者 (イ) 療育手帳の所持者 (ウ) 専門機関において障害を有すると判断された者
  - ・補助金の額 障害児1人につき月額30,000円

#### (2) 小学校特別支援教育充実費

- 学校特別支援教育支援員報酬等 (104,491千円)
  - ・特別支援学級指導員5人 (浮島小 5人予定)
    - 肢体不自由児特別支援学級の重度心身障がい児の学級運営補助、生活支援
  - ・学校生活介助員 78人 (2人1組体制で配置)
    - 通常学級における肢体不自由児の生活介助、自閉症・情緒障がい、知的障がい特別支援学級等の生活介助、学習補助
    - (新居浜、宮西、金子、金栄、高津、浮島、惣開、垣生、神郷、多喜浜、泉川、船木、中萩、大生院、角野の各小学校に配置予定)
  - ・学校支援員 14人 (通常学級における発達障がい児等の学習支援等)
    - (新居浜、宮西、金子、金栄、高津、浮島、惣開、若宮、垣生、神郷、多喜浜、泉川、船木、中萩、大生院、角野の各小学校に配置予定)
- 階段昇降機実技講習会謝金 (32千円)
- 修学旅行等特別活動引率支援員旅費等 (77千円)
- 自閉症・情緒障害特別支援学級通学補助金 (398千円)

#### (3) 中学校特別支援教育充実費

- 学校特別支援教育支援員報酬等 (15,266千円)
  - ・学校生活介助員 20人 (2人1組体制で配置)
    - 通常学級における肢体不自由児の生活介助、自閉症・情緒障がい、知的障がい特別支援学級等の生活介助、学習補助
    - (東中、西中、南中、北中、泉川中、船木中、大生院中に 配置予定)
- 修学旅行等特別活動引率支援員旅費等 (73千円)
- 自閉症・情緒障がい特別支援学級通学補助金 (93千円)



## ◎芸術文化の振興

(単) **文化施設環境整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課)**

**86,014千円** (269,726千円)

1 事業目的

老朽化が進んでいる文化施設について施設の整備や設備更新を行い、利用環境の改善、利便性の向上を図る。

2 27年度の事業内容

(1) 文化施設環境整備事業 53,946千円

- ・音響設備更新工事、中ホール吊物改修工事、別館トイレ洋式化工事、大ホール照明設備リース料、大ホール音響設備リース料、座席クリーニング料、中ホールインテリア更新

(2) 郷土資料展示施設環境整備事業 32,068千円

- ・郷土美術館の解体にあたり所蔵している郷土資料を新施設に移設展示するため、必要な改修工事等を行う。

(施) **総合文化施設管理運営費 (企画部 総合文化施設準備室)**

**145,047千円** (108,815千円)

1 事業目的

平成27年度にオープンする総合文化施設について、指定管理者による効果効率的な管理運営を行うとともに、美術品の収集計画等の策定のための収集評価委員会の開催、アドバイザーの招へい、開館事業などを実施することにより多くの市民に利用してもらえる施設をめざす。

2 27年度の事業内容

- ・報償費 (収集評価委員、アドバイザー等報償費) 1,164千円
- ・旅費 (収集評価委員、アドバイザー等招へい旅費) 1,701千円
- ・需用費 58千円
- ・役務費 (郷土美術館所蔵品燻煙手数料、総合文化施設火災保険料) 342千円
- ・委託料 141,782千円

指定管理委託料

開館準備支援業務委託

開館プロジェクト委託料

郷土美術館所蔵美術品移管委託料

美術館使用料徴収業務委託料

3 財源内訳

(1) その他 145,047千円 (美術館使用料、合併振興基金繰入金)

## フィールド5 教育文化 ～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **総合文化施設開館記念事業費（企画部 総合文化施設準備室）**（新規）

**91,845千円**

### 1 事業目的

新居浜市総合文化施設及び新居浜市美術館の開館を祝して、開館年度を通じて各種の開館記念事業を実施する。

発案から建設まで40年のあゆみや、市民団体やアドバイザーとの協働企画など、総合文化施設の事業コンセプトを広く市内外へアピールする。

また美術館開館記念展では新居浜と日本というテーマで、日本近代美術史における新居浜及び住友の関わりを紹介する。

### 2 27年度の事業内容

#### （1）総合文化施設オープニング事業

##### 1) 美術館部門

- ①寺坂公雄展
- ②40年の歩み～美術館から総合文化施設～
- ③美術館開館記念展Ⅰ

##### 2) 総合文化部門

- ④開館記念式典
- ⑤鴻上尚史記念イベント
- ⑥虚構の劇団新作公演
- ⑦にいほまからはばたいた才能たち
- ⑧市民参加型音楽パフォーマンス

##### 3) 市民協働部門

- ⑨市民協働企画事業

#### （2）美術館事業

- ⑩美術館開館記念展Ⅱ
- ⑪美術館常設展示

### 3 財源内訳

- （1）繰入金 91,845千円（合併振興基金繰入金）

## ◎スポーツの振興と競技力の向上

### (単) 体育施設環境整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) (拡充)

62,282千円 (35,260千円)

#### 1 事業目的

体育施設の利用環境の安全性を高めるため、老朽化により改修が必要な施設を計画的に整備するとともに、施設管理に必要な備品類を順次更新することにより、利便性の高い施設としての機能を維持していく。また、「銅山の里自然の家」の立地条件を把握するため地すべり調査を実施する。

#### 2 27年度の事業内容

- ・委託料 (東平地すべり調査業務委託料) 16,405千円
- ・工事請負費 43,256千円
  - ①東雲市民プール塗装改修工事 (流水・スライドプール 9月以降施工予定)
  - ②多喜浜体育館1階競技場床研磨改修工事 (7月中旬以降施工予定)
  - ③山根公園屋内プール熱交換器取替工事 (9月以降施工予定)
  - ④市営野球場スタンド入口等修繕工事 (10月以降施工予定)
  - ⑤市営サッカー場芝改良工事 (5月以降施工予定)
- ・備品購入費 2,621千円
  - ①収納庫2棟 (市営サッカー場) ②柔道畳交換 (武徳殿) 65枚

### (公) 市民体育館耐震補強対策事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) (新規)

131,947千円

#### 1 事業目的

市民体育館耐震診断の結果により強度不足の判定となった箇所を設計委託に基づき補強対策工事を実施し、安心・安全な施設機能を回復する。

H25年度 市民体育館耐震診断、H26年度 市民体育館耐震設計

H27年度 市民体育館耐震対策工事

#### 2 27年度の事業内容

- ・工事請負費 131,825千円
  - (1) 工期予定 (平成27年9月1日～平成28年3月31日)
  - (2) 工事内容
    - ①ブロック壁撤去乾式壁復旧工事
      - ・アリーナ階1階東、南、西壁面、シャワー室、トイレ外
    - ②構造スリット作成…柱と一体化している壁にスリットを設け壁と柱を分離 (トレーニング室、幼児体育室外)
    - ③躯体補強 (柱増厚 (打増) 工事…14本、柱頭鋼板巻…14箇所)
- ・事務費 122千円

#### 3 財源内訳

- (1) 国 1/3 43,941千円 (防災安全交付金)
- (2) 市債 90% 79,000千円 (公共事業等債)
- (3) 一財 9,006千円

## フィールド5 教育文化

### ～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

#### (単) 国体関連施設整備事業 (企画部 港湾管理課)

106,024千円 (186,594千円)

##### 1 事業目的

平成29年度に開催する「えひめ国体」の円滑な開催に向けて、セーリング競技会場であるマリンパーク新居浜に、所用の施設を計画的に整備し、「えひめ国体」の開催に備える。

##### 2 事業年度

平成26年度～平成29年度

##### 3 事業概要

(1) 場所 垣生3丁目 マリンパーク新居浜内

(2) 全体計画

- ・ヨット艇庫建設工事、斜路(常設、仮設)設置工事
- ・艇置場整備工事、駐車場整備工事、浮棧橋改修工事

(3) 事業期間 平成25年度～29年度

##### 4 27年度の事業内容

・工事費 106,024千円

浮棧橋改修工事 C=97,848千円、斜路シラ材撤去工事 C=1,134千円

カメラ増設工事 C=1,242千円、風速計改修工事 C=5,800千円

##### 5 財源内訳

(1) 県 2/3 756千円 (えひめ国体市町等競技施設整備費補助金)

(2) 市債 100% 97,800千円 (港湾整備事業債)

(3) 一財 7,468千円

#### (施) 国民体育大会開催対策費 (企画部 国体推進室) (拡充)

30,449千円 (3,899千円)

##### 1 事業目的

平成29年に開催される国体を成功裏に導くための事務費及び平成26年9月22日に設立した愛護つなぐえひめ国体新居浜市実行委員会への負担金

##### 2 27年度の事業内容

・国民体育大会開催対策事業

人件費(臨時・非常勤職員) 11,940千円

先進地視察旅費 2,789千円

使用料及び賃借料(自動車等) 1,759千円

その他事務費 400千円

負担金(実行員会) 13,061千円

[内訳]

総務費(会議費や事務局運営費) 605千円

開催推進費(広報啓発用消耗品やホームページ開設費用等) 5,402千円

大会開催費(競技会場レイアウト設計費用等) 7,054千円

・国体花いっぱい推進事業

委託料(国体花いっぱい推進事業) 500千円

##### 3 財源内訳

(1) 県 10/10 1,944千円 (えひめ国体市町等競技施設整備費補助金)

(2) 一財 28,505千円

## フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

### (単) 国体施設整備事業 (企画部 国体推進室)

68,688千円 (40,813千円)

#### 1 事業目的

平成29年に開催される国体における競技会場及び練習会場、アップ会場について、参加選手が安全かつ快適に使用できるよう施設整備を行うもの。

#### 2 事業年度

平成25年度～平成28年度

#### 3 27年度の事業内容

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| ・市営サッカー場アップ場設置設計業務委託料 | 4,094千円  |
| ・市営野球場整備工事 (防球フェンス改修) | 32,168千円 |
| ・市営野球場内野席改修及び塗装工事     | 12,071千円 |
| ・国体サッカー練習会場芝生化事業      | 20,355千円 |
| (内訳)                  |          |
| 工事請負費                 | 16,838千円 |
| 備品購入費                 | 1,649千円  |
| その他事務費                | 1,868千円  |

#### 4 財源内訳

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| (1) 県 1/2 | 2,046千円 (えひめ国体市町等競技施設整備費補助金) |
| (2) 一財    | 66,642千円                     |

## ◎近代化産業遺産の保存・活用の充実

### (単) 端出場水力発電所公開活用費 (企画部 別子銅山文化遺産課) (新規)

20,684千円

#### 1 事業目的

別子銅山の近代化を支えた象徴である旧端出場水力発電所について、将来にわたって保存活用を図るため、文化財としての価値を損ねることなく公開活用を前提とした耐震補強などの具体的な整備方針と保存活用についての計画を策定。別子銅山産業遺産を活かしたまちづくりへ貢献する。

#### 2 事業年度

平成27年度～平成28年度

#### 3 事業概要

旧端出場水力発電所の構造調査、耐震診断を含む整備方針、保存活用計画策定業務についての委託事業。

学識経験者等の専門委員による保存活用計画策定委員会設置にかかる旅費、報償費等。

#### 4 財源内訳

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| (1) 国 1/2 | 10,342千円 (文化財建造物等を活用した地域活性化事業費補助金) |
| (2) 繰入金   | 10,342千円 (あかがね基金繰入金)               |